

平成30年度 第3回 鎌倉市国民健康保険運営協議会会議録

- 1 日 時 平成31年(2019年)1月24日(木)午後1時から1時40分まで
- 2 場 所 本庁舎2階 201会議室
- 3 出席委員 和田 猛美、石井 正夫、栗山 翔一、高井 久雄、沢辺 節、  
千代 美和子、蔵並 貴子、島田 博、山内 由光、  
金林 茂、丸山 浩、矢澤 基一、梅澤 秀子、渡邊 和代、  
阿部 美弥子

以上 15名

- 4 出席職員 内海健康福祉部長、大澤健康福祉部次長、森保険年金課長、  
井上課長補佐、白井担当係長、桐戸担当係長、丸山事務職員、  
鈴木事務職員、藤野事務職員

5 議事日程

- (1) 平成30年度本市国民健康保険事業特別会計補正(2月補正)予算案について
- (2) 平成31年度本市国民健康保険事業特別会計予算案について
- (3) その他

6 会議の内容

(1) 会議概要

- ・ 開会(保険年金課長)
- ・ 会長挨拶及び議事進行(和田会長)
- ・ 本協議会の成立の旨及び傍聴者の報告(事務局)
- ・ 開会宣言(和田会長)

(2) 議事概要

議題1 平成30年度本市国民健康保険事業特別会計補正(2月補正)予算案については、森課長の説明の後、質疑に入った。概要は次のとおり。

渡邊委員 資料1の歳入当初予算総額が異なるのではないか。

森課長           ご指摘のとおり、正しくは「18,273,300」である。

島田委員       (退職者の療養給付費は)高額な入院費が発生したとあるが、どのような疾患によるものか。心臓疾患や心筋などか。

井上課長補佐   退職者で8月に1名の方について心臓病の入院及び手術があったため、高額となった。

質疑終了後、議題1の報告内容については了承された。

議題2   平成31年度本市国民健康保険事業特別会計予算案については、森課長の説明の後、質疑に入った。概要は次のとおり。

渡邊委員       資料2の歳出の保険給付費は112億9千万円となっているが、資料3-①のグラフでは97億9千万円と大きな差があるがなぜか。

井上課長補佐   資料2の保険給付費は、高額療養費等もすべて入った数字である。資料3-①の保険給付費は、療養の給付費、いわゆる純粋な医療費のみ集計したものである。療養の給付費については総額の一部であるため、少ない数字となっている。

渡邊委員       高額療養費も含まれた数字が全体の給付費ということか。

井上課長補佐   そのとおりである。

島田委員       保険料は地域によって異なるが、鎌倉市は神奈川県下ではどのくらいの水準なのか。

森課長       近年の傾向では、19市中、中程度の水準である。しかし県や国の求める保険料水準には達していないため、その水準との差は繰入金等を導入している。

沢辺委員       一般会計繰入金について、先に送付された資料や今回の説明の中で、複数の数字が出てくるが、どの数字が正しいのか。

森課長       以前お送りした資料は予算編成過程のものであり、本

日差し替えた資料の17億3千万円が正しい。

沢辺委員 資料2の数字とは違うのか。

森課長 資料3について、一般会計繰入金は17億3千万円である。資料2のグラフの繰入金は、一般会計繰入金と基金繰入金を合計したものであるため、18億7千万円となる。

質疑終了後、議題2の報告内容については了承された。

その他の事項として、次回運営協議会の日程を報告し、これを以って、平成30年度第3回鎌倉市国民健康保険運営協議会は終了した。